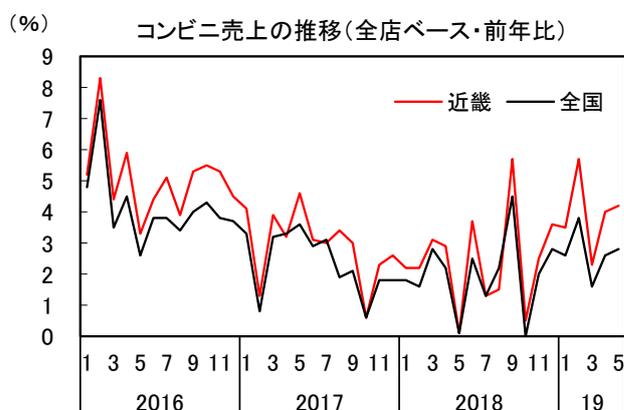


関西の景気トピックス【消費関連（19年5月）】

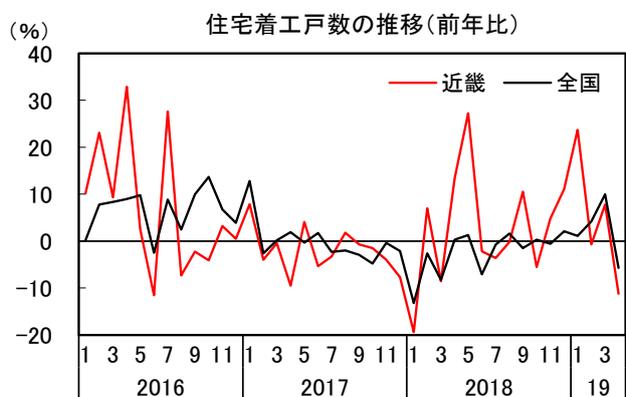
- 19年5月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比プラス0.1%と11か月ぶりの増加となっている。訪日客による免税売上が牽引し、百貨店が好調となったほか、スーパーも前年割れが続いているものの、減少幅は前月よりも縮小している（業態別には、百貨店がプラス1.2%、スーパーがマイナス0.5%）。
- コンビニ売上（経済産業省）の5月は全店ベースで前年比プラス4.2%と、堅調な推移となっている。
- 住宅着工戸数の（国土交通省）4月は、前年比マイナス11.2%と2か月ぶりの減少となった。持家は9か月連続でプラスとなったものの、賃貸、分譲ともに2ケタ減となった。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向については、大阪（3月）は直近で前年を下回るなど、力強さはなく、消費増税に向けて心配な動きとなっている。



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」